



佐那河内村 役場庁舎跡地活用検討委員会コンサルティング業務報告書

有志検討会による役場跡地の活用イメージ

2023 年 3 月

合同会社 暮らしと自治と創造

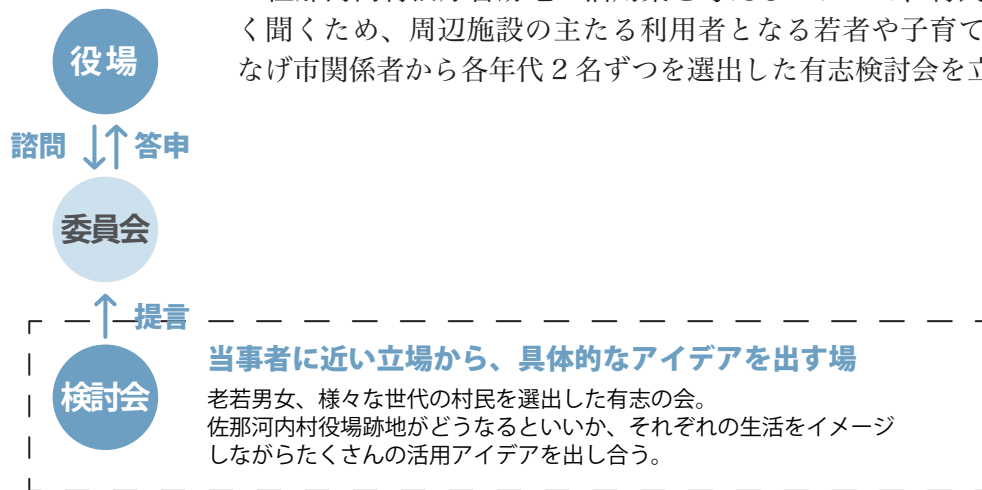
参考資料 1

はじめに	1
第1回ワークショップのまとめ	2
第2回ワークショップのまとめ	4
第3回ワークショップのまとめ	6
今後の検討事項	10

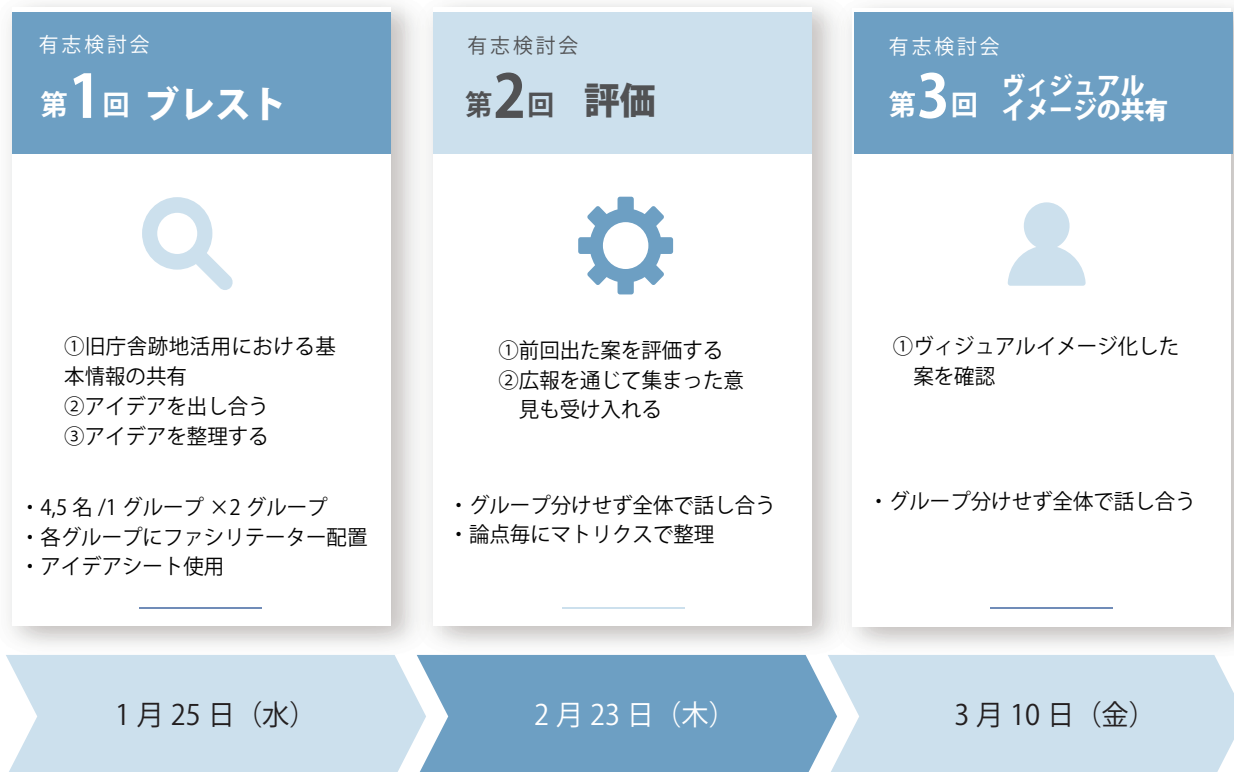
目次

はじめに

有志検討会の趣旨



有志検討会の概要・スケジュール



有志検討会メンバー ※順不同

ファシリテーター：田口太郎

○廣島美咲 ○角田陽希 ○酒井貴史 ○山本麻記 ○西條加代
○多田奈津佳 ○富長伸司 ○山本周二 ○坂本貴子 ○日下裕資

有志検討会 01 / 2023 年 1 月 25 日

■ワークショップの目的

村がイメージしている機能（必要条件）を紹介した上で、その条件にとらわれずに“あったら良い”機能をブレインストーミング型のワークショップ方式でたくさん出していく。

※拡散型の意見収集



■実施内容

01 本施設の基本機能の紹介

本施設整備の背景

- ・旧庁舎の耐震上の問題、土砂災害警戒区域による計画上の制限
- ・今計画での農振センターの建て替え予定はないが、将来的な建て替えは視野

現在役場としてイメージしてる具体的機能（前提条件）

- ・図書館機能
- ・100 人規模の集会機能
- ・子どもの居場所機能
- ・村財産の保管機能



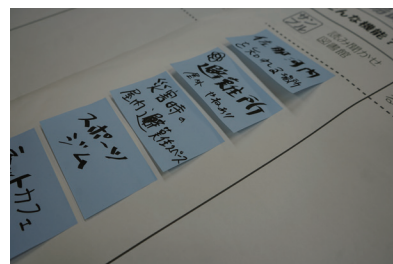
02 本施設（本敷地）に“あったら良い”機能をブレインストーミング

ただ漠然としたアイデアをリストアップするのではなく、具体的に示すために提案の背景なども整理。



03 内容を広報で紹介、意見を公聴

第 1 回検討会の様子を広報で紹介した上で、役場森河さん宛に広く村民からアイデアを募集。「検討会をのみのクローズドな会」とならないよう工夫。



■総括

グループ①は女性、グループ②は男性のみの編成となりグループ

①は女性ならではの子育てに紐付いた機能案が出た。

グループ①

「新しい建物はいらない」というところから話は始まり、旧庁舎周辺施設を活かす方向で、各既存施設にほしい機能を当てはめながら検討した。

グループ②

新しい施設にほしい機能をざっくばらんに検討した。

役場跡地 機能アイデアシート

どんな機能？	なぜその機能？	誰が使う？	いつ使う？	どう使う？	村がどう変わる？
サザン 読み聞かせ 図書館	本に触れるだけでなく、世代交流ができる？	・読み聞かせグループ ・小学生、保育所？	・小学生は放課後？ ・保育所はいつでも？	・読み聞かせの会を定期的に開催？	・本好きが多くなる ・異世代交流が進む

” があると良い ” 機能一覧

グループ①

参加者（山木、西條、多田、坂本）※順不同

★建物はいらないのでは？公民館も活用できる。各集会所もある。

どんな機能がほしい	なぜ必要か	想定利用者	どんな時に使う	どう使うか	村の未来
農振センター(リフォーム) ※1Fを渡り廊下で管理棟とつなげる					
・図書館(1F)	子どもの居場所にもなる	全年代	家に居たくない時に過ごせる場所。	・しゃべる場所 ・ちょっとした時間つぶし	みんなが住みよい場所 (地域外に行かなくてもいい)
・自習室(1F)	今は、わざわざ神山・文化の森まで行っているから			・テレワーク作業 ・スマホのことをちょっと相談できる場所	
・調理室(1F)				・親子調理教室 ・伝統料理(こんにやく、味噌)	魅力的な場所になり、村外からの移住者が増える
・壁を抜いて広い部屋(2F)			・健康診断 ・避難時 ・会議	・簡易畳を敷いて、バーテーションで区切る ・避難所 ・多目的に使う ・老人会による昔遊びの会	
・博物館(3F)345				雨の日の遠足	
旧庁舎 <広場・小さい管理棟新設>					
・お母さん同士が集まる場所 ・公園	お弁当を食べる場所 運動できる場所	・小中学生 ・保育園児の散歩 ・新生児のお母さん ・移住したばかりの人	放課後など	・マルシェ 「キャンプファイヤーと電源。自由にテントを張れる。 ・散歩	・異世代交流 掃除がしやすく、利用者が各自で片付ける
農協・直売所					
・コインランドリー ・散歩道のスタート地点 ・道路が危なくないようにする導線 ・オムツ替え、授乳給湯スペース ・便利なもの、ルールなど使い方が分かる機能	村外の人に紹介できるところがないから 子どもが安全に往来できるようにする			直売所をつなげる レンタサイクル	村外の人々がふらっと村を探索できる

グループ②

参加者（角田、酒井、富長、山本）※順不同

どんな機能がほしい	なぜ必要か	想定利用者	どんな時に使う	どう使うか	村の未来
・塾、学習スペース、放課後のたまり場	勉強の場が足りない 放課後～スポーツ少年団までの過ごす場所がほしい	小・中学生、高校生 高齢者	放課後、長期休暇 日中	大学生、引退した教育者、ボランティア先生の塾、教える場	勉強が好きになる
・屋根ありの避難所(屋外) ・災害時の避難スペース(屋内) ・公衆トイレ ・コインランドリー	もっと必要	みんな(村内外)	・いつでも ・災害時	・普段はフリースペースで、緊急時は避難できる	地域に心の余裕ができる
・図書室 ・簡易な無人カフェ ・ギャラリー、佐那河内を知れる場所 (村の歴史のイロイロな保管場所)	現状あるものがなくなると困る 村内外の人と交流の場	子ども、高齢者	日中	お茶をしておしゃべりできる図書室(勉強スペースとは別) ギャラリー展示(村の宝や工作物など色々展示する)	
・カルチャーセンター ・図工室、技術室	技術継承	子ども～高齢者	日中	村の技術をもった方を先生として、教室、イベントの開催	職人が増える
・スポーツジム(有料)	体力向上維持	消防の方、スポーツクラブ、高齢者	休みの日 ちょっとした時間	無人で機械だけを置く	健康人口が増える
・温泉(銭湯)	裸の付き合い 交流スペースとして	特に高齢者	朝～夜		
・ネットカフェ(漫画喫茶)	インターネットを使う	家にネットがない高齢者など	日中いつでも	・各人で使う ・パソコン教室	村のIT革命
・物販スペース	残していきたい(しゃくなげ市のような場)	婦人会	日中	買い物の場 村の作物紹介の場	

有志検討会 02 / 2023年2月23日

■ワークショップの目的

出された意見を各論点毎に整理し、現実性を評価する。役場イメージとまったく異なるアイデアであっても役場イメージと融合可能性も検討した。

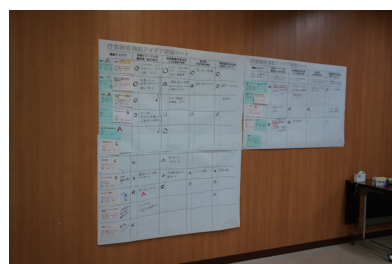


■ 実施内容

01 検討会 01 の振り返り／広報を経た応募アイデアの紹介

02 論点整理

前回出てきたアイデアそれぞれに対して共通した論点で評価をしていく。「機能アイデア評価シート」を使用。◎○△×で大きな評を加えた上で、各評価理由についてコメントを入れていく。全員で一つずつ確認した。



03 有志検討会として提案する機能イメージのランキング

評価結果をもとに、有志検討会として本委員会に提案する機能イメージをランキング（優先順位）を付与してまとめた。

A: 必要 B: できれば必要 C: あったらいいな



■総括

広報を通じて役場に寄せられた意見と前回出てきたアイデアを一つ一つ、内容、利用頻度（本当に利用されるか?）、安全性、管理運営、それらの妥当性を検証した。

新しいしっかりとした建物を建てずとも、農振センターを改修して利用する、跡地を広場化し、ちょうど農協選果場の大屋根のような屋根と必要に応じて設置できる壁があれば、大抵の機能が充足できるのではないか、という意見もあった。

また、役場でも必要機能としている「図書館」については、静寂で立派な図書館というよりも、午前中は高齢者が集まり、午後は小中学校の生徒たちが宿題をするような“居場所的”な場所にする方が、利用者も多く、管理もしやすいのではないかと、というような意見があった。

特に、子育て世代にとっては、自宅以外の居場所として機能することが、子育て負担の軽減の上でもとても大切だ、というような意見が出された。

たくさん上がった意見一つ一つを丁寧に検証しながら進め、最終的には図書スペース、たまり場スペースの優先順位が高く、付帯機能としては授乳室や無料Wifi、外部には24時間利用可能で清潔な公衆トイレなどが挙げられた。その上でも本当に新たにしっかりとした施設整備をする必要があるのか、引き続き議論が必要、という結論に至った。

庁舎跡地 機能アイデア評価シート

機能アイデア	役場イメージとの親和性（融合可能性）	利用頻度の妥当性（十分な需要の有無）	安全性（安全管理の確認）	管理運営の妥当性（管理はしやすいか？）
サン ブル コンサート ホール	△ 音楽はイベント 的で十分では？	△ 日常的な利用は 少なそう	◎ 安全上のリスクは あまりないと思われる	◎ 実際運営を上手に できる人が居るか疑問

評価結果一覧

参加者(山木、西條、多田、坂本、角田、廣島、酒井、富長、山本)※順不同

優先度	機能アイデア	役場イメージとの親和性 (融合可能性)	利用頻度の妥当性 (十分な需要の有無)	安全性 (安全管理の確認)	管理運営の妥当性 (管理はしやすいか?)
A 必要	図書館 (図書コーナー的) 【農振センター1階】	◎ にぎやかでやわらかく、アットホームなイメージ。ふらっと立ち寄れる場所。	○ 一利用者一 全日:高齢者 午前:子連れママ 午後:小中学生	○ 背の低い本棚	○
A 必要	自習・学習スペース(放課後のたまり場) 【農振センター1階】	○ 図書室の一角にテーブルを設置	一利用者一 午前:高齢者 放課後:小中学生		○ 企画的に。
A 必要	オムツ替え 授乳給湯スペース	○ 図書室の一角に設ける	○		
A 必要	フリーWi-Fi	○	○	○	○
A 必要	公衆トイレ (24時間使用可)	○ 気軽に使える洋式	○	○	○ 衛生管理に工夫が必要
	屋外スペース 公園(広場) 屋根ありの避難所(農協前にあるひさしのイメージ)	△ 全天候型公園(広場) ・屋根さえあればいい ・移動可能なトレーラーハウス設置	平時:公園 非常時:避難所	△ 国道の往来について検討する必要あり	○ オープンな場所
?	博物館・ギャラリー(佐那河内を知れる場所) ※村民が必要というよりか、村として必要かどうか 【農振センター3階】	◎ 【佐那河内史書コーナー】 図書室の一角に設ける。 【博物館スペース】 静か、学べる	△ 【博物館スペース】 使用頻度低い 既存施設に空間があれば設ける。わざわざ新設する必要はない。	△ 【博物館スペース】 自由に出入りできないようにする。	○ 【博物館スペース】 鍵をしっかりとかける
B できれば必要	コインランドリー	○ 大型洗濯機1、2台 災害時にも役立つ	○	○	○ 子どもが立ち入らないように施錠が必要
C あったらいいな	簡易な無人カフェ				
C あったらいいな	温泉(銭湯)	×	△ 男性○、女性△		
C あったらいいな	【中央運動公園】? スポーツジム(有料)	×	△ 利用者は限られるが意外という	△ トレーナーが必要	△ 機械を置く場合、管理が必要(子どもが立ち入らないように施錠が必要)
C あったらいいな	【中央運動公園】? シャワー	サイクリングの人やスポーツジム利用者用			
	カルチャーセンター、図工室、技術室 【小中学校の図工室など】 既存施設を開放してほしい	イベント時は、屋外屋根のスペース利用			△
	物販スペース 【新家】でいいかも	×			
	広い部屋 (災害時の屋内避難スペース) 【小中学校の体育館】 冷暖房整備して利用	○ 100人規模の集会に関しては既存施設を利用する	△ 年に数回	○	○
	調理室 【農振センター】				

有志検討会 03 / 2023 年 3 月 10 日

■ワークショップの目的

前回意見の中で評価の高い案をいくつかピックアップし、その案のイメージを共有した。

■実施内容

01 検討会 02 の振り返り

02 ヴィジュアルイメージの共有

優先度の高い機能に絞り、各機能案に用意されたヴィジュアルイメージ（具体的な雰囲気の写真）を見ながら、より具体的なイメージに近い画像を模索し、イメージ案を仕上げていく。

基本的に参加者全員で PC モニタを通してイメージ写真を確認しながら意見を交わす。評価結果をもとに、有志検討会として本委員会に提案する機能イメージをまとめた。



■総括

検討会 02 の結果を受け、優先度の高い機能案を 7 つピックアップし、各機能毎にイメージを検討した。図書館については“書架が並ぶ”よりも“図書コーナー”のように、“人が集う場の脇に背の低い本棚がある”場所が良いのではないか、というような意見でまとまった。

自習・学習スペースについては、“静寂で集中できる場所”というよりも“仲間と一緒に話しながら楽しく勉強する場”が共通イメージであった。

また、旧庁舎跡に新たに立派な建物を建てる、というよりも全天候型の屋外空間が確保できるような大屋根空間があったらいいな、という意見についても、しっかりとした造りのものから仮設テントのようなものの中から、農協選果場前の大屋根のような簡単なひさしがいい、という意見だった。

このように具体的なヴィジュアルイメージを共有することで「思っていたものと違う」ことのないように意見をまとめた。また、旧庁舎跡に新しい建物を建てずに農振センターの再検討、という意見が多くある中で、具体的に農振センターをどう改修するのが有効か、についても農振センターの設計図を確認しながら行った。



選出されたヴィジュアルイメージ

参加者（山木、西條、坂本、廣畠、酒井、山本）※順不同

第2回検討会で優先度の高い機能について更に協議し、検討会の共通ビジュアルイメージをそれぞれ下記のとおり複数イメージから選出した。

図書館

優先度 A



①滑川市立子ども図書館



②ウィズあかし

②のようなコーナー的な規模感の図書館に①のような低い本棚が壁に置かれているイメージ。

農振センター1階の社協事務所や玄関ホールなどのスペースを利用する。

自習・学習

優先度 A



③神奈川大学横浜キャンパス図書館自習スペース

静かに個々で独立した勉強するデスクというよりは、イメージ写真のように数名掛けの椅子と机を置いた、ワイワイと賑わったような雰囲気。

農振センター1階の社協事務所や玄関ホールなどにテーブルを配置する他、2階真ん中の会議室の廊下面の壁を除き、オープンな学習スペースとする。

授乳・給湯・オムツ替え 優先度 A



⑥広島三越ベビー休憩室

イメージ図のような独立したスペースで、同時に利用できるよう授乳室・オムツ替え台は各2くらいあるとよい。

男女ともに利用することを想定し、授乳スペースはカーテンではなく内鍵のかかる扉がよい。農振センター1階の建設課の部屋の一部を使用。

公衆トイレ (24H) 優先度 A

優先度 A



④すずかけ台コミュニティセンター



⑤高畑児童遊園 一般的な公衆トイレ

広場の一角の立体的な芝生横に併設されたトイレで、靴を脱いで入る仕様できれいに保てる。



④や⑤のように屋外に常設された公衆トイレを希望。④の「土足禁止」のようにトイレがきれいに保たれる工夫があるとよい。

選出されたヴィジュアルイメージ

大規模スペース

優先度ー



⑦徳島市農協佐那河内支所選果場

旧庁舎跡地には、建物は新設せず
広場とし、一部に佐那河内村の農協
選果場のような大屋根を設置する。

コインランドリー

優先度B



⑧佐那河内村農業総合振興センター

現存の洗濯室を引き続き利用する。
存在を知らない村民も多いような
ので、サイン計画を検討。

史料館

優先度？



⑨市川学園社会部

農振センター3階を保管場所として
はどうか。具体的な整備方針は役場
にて要検討。

<画像出典>

①滑川市立子ども図書館

<https://kotokototoyama.info/okunai/namerikawasiritukodomotosyokan/>

②ウィズあかし ※弊社撮影

③神奈川大学横浜キャンパス図書館自習スペース

<https://onl.la/3awZgEU>

④すずかけ台コミュニティセンター ※弊社撮影

⑤高畑児童遊園

<https://www.yamagishigumi.com/news/detail.php?id=15>

⑥広島三越ベビー休憩室

<https://www.mitsukoshi.mistore.jp/hiroshima/service/nursingroom.html>

⑦徳島市農協佐那河内支所選果場

<https://onl.la/ZbVHTz6>

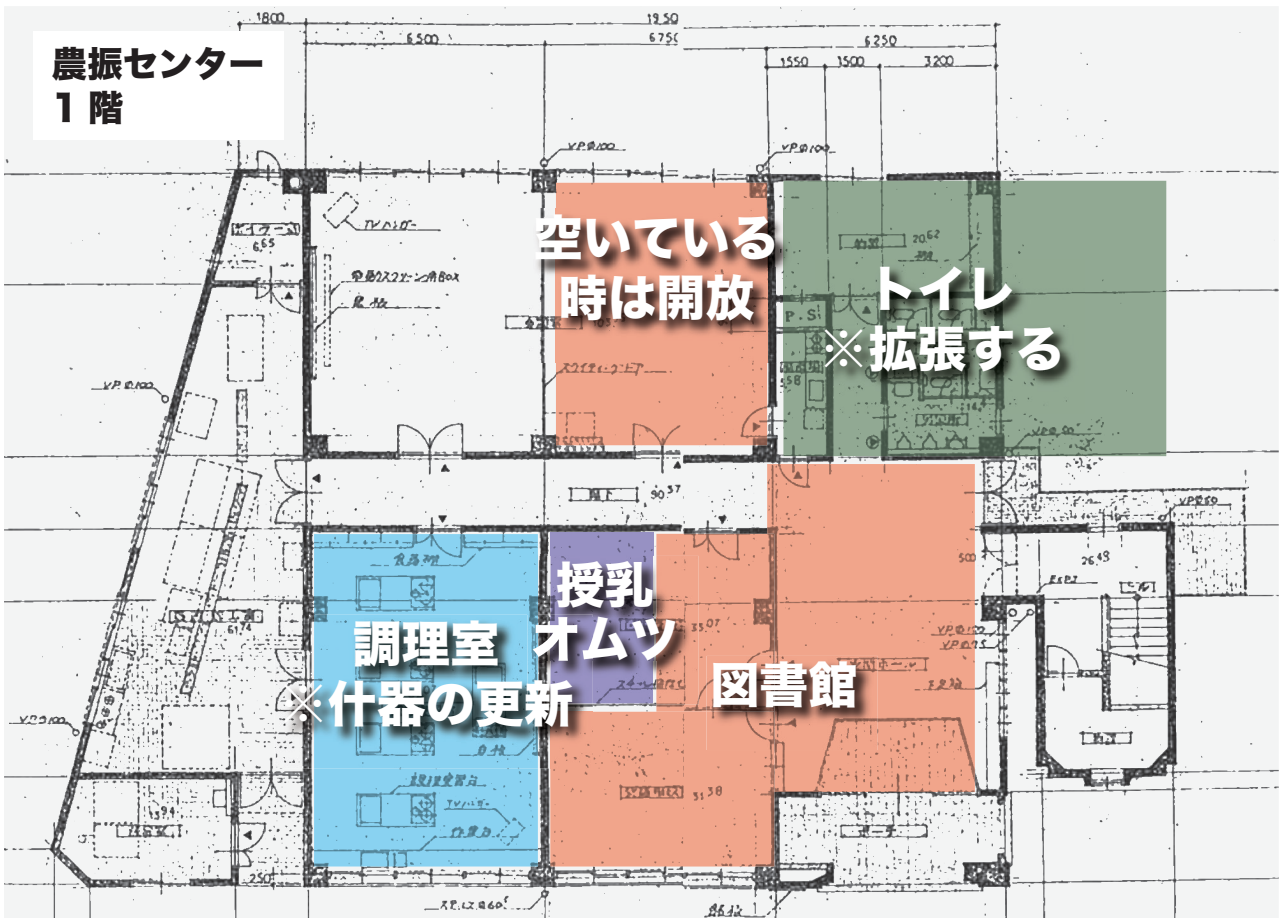
⑧佐那河内村農業総合振興センター ※弊社撮影

⑨市川学園社会部

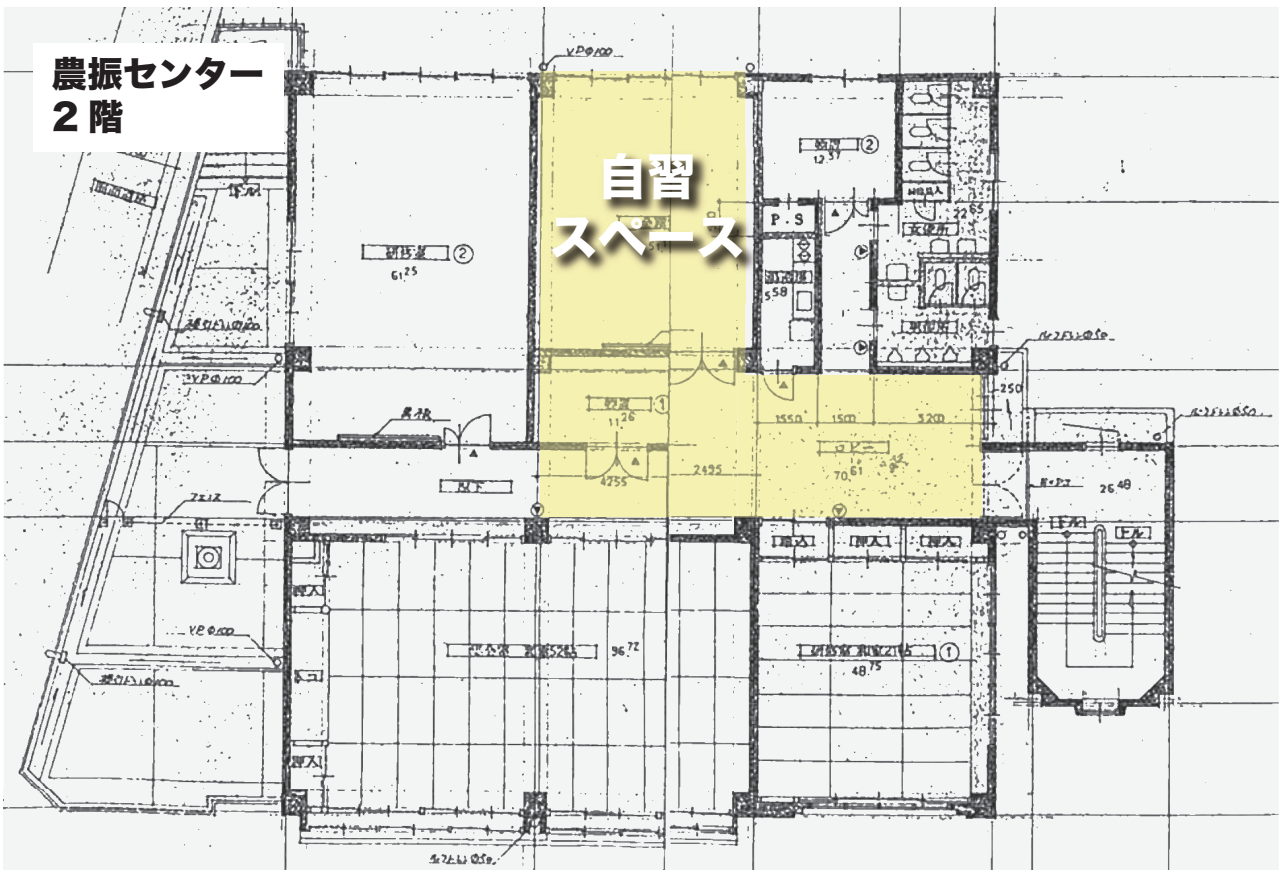
<http://13social.blog66.fc2.com/blog-entry-13.html>

農振センター建物改修時の機能配置イメージ

農振センター 1 階



農振センター 2 階



今後の検討事項

3回の有志検討会を受けて、旧庁舎跡の活用に向けて、求められる機能やその実現方法について検討を行ってきた。一方で、庁舎跡地への新規の建築物の建設については否定的な意見が多くある。

今後、施設整備を最小限にとどめつつも、求められる機能を充足することを目指し、以下のようなことを検討していく必要がある。

■農振センター改修による機能充足の現実性の検証

有志検討会では、旧庁舎跡地に新たな建築物を建設するよりも、現農振センター建物を改修することで機能強化し、旧庁舎跡は大屋根の全天候型広場とすることが妥当である、という前提で検討が進み、現農振センター建物を具体的にどのように改修すれば、求められる機能を充足することが可能であるか検討を行った。

しかし、改修の現実性、空間の大きさの妥当性など、建築設計レベルでの検討が不十分であるため、今後、実際に農振センター改修による機能強化がどの程度有用であるかの検証を進める必要がある。

■旧庁舎跡における“大屋根空間”の活用自由度の検証

農振センターを機能強化することで、旧庁舎跡には大屋根を設置することによる全天候型の広場空間を整備する方針となっている。この大屋根空間に必要な応じて簡易な壁面を設置することで大規模内部空間を創出することがどの程度現実的であるのか、また仮に大屋根空間を大規模集会施設としない場合に、現小学校体育館への空調設備の導入により対処可能であるのか、などの具体的検証を進める必要がある。

■新たに設置する施設の運営方法の検証

農振センター、旧庁舎跡の整備のあとにこの施設を具体的にどのように運営していくのか、運営主体や運営方法など、具体的な運営主体をイメージしながら検討を進める必要がある。

■施設コンセプトの明確化

検討会では旧庁舎跡単体ではなく、隣接する農振センターの改修により一体的な施設とすることが検討された。その場合、農振センターの名称を残しつつも旧庁舎跡も含めた一体的なコンセプトや施設ブランディングをすることにより、村民に広く周知され、利用されることとなると思われる。そのためにも、本施設のコンセプトを再設計する必要がある。

